

# 竹の春

麻田春庵

竹の春  
幻住庵にて一休み

デイに来て友達できて秋日和

そぞろ寒癒しと想へし紫苑かな

末枯るる寂しきものに埋もれる

鰯雲わたしのころは何処にあり

草の花あなたの傍で独り言

秋の空笑顔いっぱいデイの日哉

秋時雨果てなむ宵のしれごとか

冬ざれ

麻田春庵

亡<sup>あ</sup>兄<sup>に</sup>の影しのしのしのししぐれゆく

なんとなく帳尻あわす師走かな

冬ざれのカレンダーなしのころよ

言の葉の絆の弥逢ほう二月尽

明日のこと想い悩むな年の暮

老ろう恋れんの綻はなび療りやうす雪ゆき催もよひ

冬日和想い出積んで散歩かな

めでたさも少しばかりが幸せよ